

令和2年度 月別行事計画

Table with columns: 月日, 事業名, 事業内容. Lists monthly activities from June to May, including general assemblies, sports events, and educational courses.

令和2年度 予算収入の部

Table with columns: 項目, 予算額, 説明. Details budget income from subsidies, donations, and membership fees.

令和2年度 予算支出の部

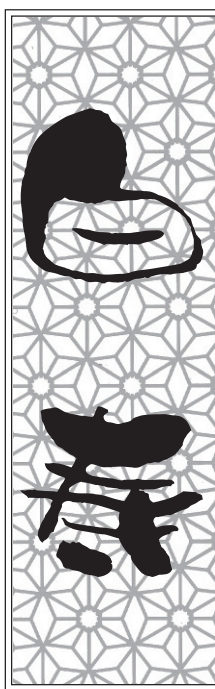
Table with columns: 項目, 予算額, 説明. Details budget expenses for general assemblies, administrative costs, and various activities.

令和2年度 町老連行事計画について

皆様お元気でしょうか？

令和2年度の行事計画は、4月28日の総会に提案し、審議し承認を頂く予定でしたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のために総会は中止し、理事会での審議となりました。

また、各単位クラブや専門部会での少人数の小規模な行事、活動等については、ソーシャル・ディスタンス(社会的距離)をとり、「マスクの着用による咳エチケット」...



発行者 藤崎町老人クラブ連合会 広報委員会 藤崎老人福祉センター内 電話 七五-三三三三

また、命を守ることを第一に考慮し、少なくとも8月までの行事は、中止・延期すること...

人身事故発生・コロナ便乗詐欺急増

藤崎町で人身事故異常発生 県内ワースト2位

新聞にも載りましたが昨年、町内で発生した人身事故の件数が大幅に増加し、64件(前年比+22件)でした。

Table showing accident statistics by location (多発場所) and time (多発時間帯).

コロナ給付金をかたる便乗詐欺

県内では、10万円給付の申請代行をかたる電話やマイナンバーカードの番号を聞き出そうとする、詐欺かと思われる事案が発生しています。

事例① 80歳以上の方は60万円以上の給付金が出ます。キャッシュカードを準備しておいて下さい。

防犯カメラが見ている

町内では防犯カメラの映像により万引きや置き引きなどの窃盗犯が5人も検挙されています。

人が居ないと思っても誰かに見られています。

6月行事予定表. Table with columns: 日曜, 行事, 時刻. Lists activities for June from 1st to 30th.

老連分担金 納入のお願い

単位老人クラブ会長 各位

町からの補助金は5月末日迄に振り込まれています。通帳を確認してください。

- 一、納入額 六,〇〇〇円
二、納入期日 6月10日(水)まで
三、納入場所 藤崎老人福祉センター 温泉窓口

町老連からの補助金配付について

女性部長・若手委員長・広報委員長・専門部長 各位

- 町老連からの補助金を左記のとおり配布致します。
一、受渡日 6月11日(木) 9時から10時まで
二、受渡場所 町老連事務室(藤崎老人福祉センター内)
三、その他
①印鑑を持参して下さい。
②総会資料の未提出の専門部は、持参して下さい。

町老連 館山新一会長 交通安全シルバー先生 委嘱される

委嘱状 館山 新一 殿

(委嘱内容) 令和2年度青森県交通安全シルバー先生に委嘱する活動区域は、弘前警察署管内とする 委嘱期間 令和2年4月9日から令和3年3月31日まで

弘前警察署長 警視 小田桐 勝行

先輩に学ぶ 旧藤崎町老連文集「白寿」から

第一号 昭和57年度 (一)

巻頭言 発刊に寄せて

老人クラブ連合会長 葛西 一郎

四月、老人福祉センターが西豊田の一角に完成し、私も老人の活動の歴史が、新しく始まることになりました。

以来、予想もしていなかった数々の活動が、皆さんの手で次々と生まれ、その一つ一つに、瞳を輝かせて参加する多くの老人の姿が見られました。老人福祉センターは、まさしく私も老人のお城であり、活動の殿堂です。

藤崎でも、いま急激に「高齢化社会」が進んでいます。その中で私たちは自分の人生をどう味付けしていくのか、どう生きるかを考え、自分の手でつかんでいかなければなりません。

久しく待ち望んでいたこの「文集」は、私たちが自分の生き方を見つめ合い、語り合い、求め合う大切な機会です。皆さんの努力で長く長く続けられるように切に願うものです。

※これは昭和五十八年二月二十四日、文集白寿第一号に掲載されたものです。

孫の質問

小畑 新谷 喜作

先ごろ5歳になる孫と一緒に風呂に入った。少し温度が高いので、孫のことを考えて水を入れ、丁度よくして一緒に入浴した。

大変喜んだ孫は、「ニコニコ顔で流行歌の「エー湯だなアハハハ……」と歌いだした。その調子に合わせて私も「エー湯だなアハハハ……」と歌いだした。それから二人の歌は止まった。

孫は私の顔をキョロキョロ見て「おじいちゃん、その次知らないの？ 寿理(孫の名前)は知ってるよ、歌ってあげようか」「うん、歌って聞かせて……」孫は大きな声で間違いないように上手に歌い終わった。「上手だねえ……」と褒めてあげると、上機嫌になり孫はいきなり「おじいちゃん大好き……」とかん高い声を張り上げて、おじいちゃんのハゲ頭をなで始めた。風呂場は二人だけの天国のように思われた。

気を良くした孫は、私を相当尊敬した様子に見えた。さらに孫は私に様々な質問を始めた。その質問はあまりにも難しく、答える頭もないので、適当に話して終わらした。しかし、年齢に似合はぬ大人ぶりの質問を始めたのには驚いた。

風呂場の時計は午後5時30分、入浴が終わって家中みんな夕食を始めた。私は入浴中の孫の質問をみんなにアてたら、パパは3問を正確に答えを出してくれた。一緒に入浴した孫は大声で「おじいちゃん嘘をつい

た」と言い家中みんな笑いながら騒ぎ出した。「おじいちゃんは何年か忘れただけ……!？」と、私は笑いながら自分の部屋に去った。

思い出して心残りもないが、自分が幼い頃こんな難しい言葉でこんな事柄を思い出して覚えようとする才能があった筈がなかったと思ふ……。別に気にもしないが、昔の幼児から見れば、今の幼児は皆はるかに才能が進んでいるのは事実なことだ。孫の成長は楽しみなことである。そして育ち盛りの子の親は、道徳教育を自ら実行し、子供に訓戒し恥じない社会人として、育て上げるよう祈るこの頃である。(昭和58年1月)

※旧藤崎町老連文集「白寿」は、昭和57年度の58年2月24日に第1号が発刊され、昭和63年度の平成元年3月の第7号まで出版された。

発行は藤崎町老人クラブ連合会・藤崎町老人福祉センターであり、編集・印刷は当時藤崎町老人福祉センター職員の小笠原睦男氏であった。

小笠原睦男氏のご厚意により全7号の提供を受け、今回から「白寿」に掲載することとした。

古老が語る 「物知りの記録」(12)

大字久井名館地区

古老12 73歳
平成3年10月24日収録

商店

今はないが、小さいころ店があった。その前が広い場所で、盆踊りなどをやった。

力石

昔、休みの時、何もすることがなく、力石が何個もあったので、春から若者が集まって石を担いだものだ。

盆踊り

盆踊りは、ちよつと広いところがあれば、いたる所でやった。

著名人

久井名館から北海道の網走に行き、床屋をしながらマリモの研究をして網走市立博物館長を務めた米村喜男衛氏がいた。

服装

子供達は着物を着ていた。下は「モモヒキ」はいで凧飛ばした。ずっと大きくなるまでズボンがなく、モモヒキ姿で遊んだ。履物は藁靴を履いた。一年生の時、ゴム長靴を買ってもらったが足に合ったものでなく、何年も履けるように大きなものであった。三年位履いたと思う。

食事

野菜、漬物、イワシは藤崎から売りに来る人がいて、安かったので一日置き位に食べた。マスなど食べたが4〜5日置き位であった。冬になれば秋に干しておいた大根の葉、シグサ汁を食べた。

住居

元は、礎石を所どころに置いて、柱立てで建てた家もあったし、土間に藁を敷いている家もあった。流しは外に大きな溜めを作り、溜めに水が落ち

るようにして、溜まった水を「こやま」にかけた。汲んでかけた。井戸は各家にほとんどあった。区画整理により地下水が低くなり、出なくなった所もあった。

正月

正月は、青森に魚を買いに行つた。魚売りから買うのは高いので、汽車賃かけても損しなかった。長く保存できるものを買つた。

結婚式

結婚式は、その地区で料理する人が魚買つて来て、家で料理してお膳をつくつた。女の人数が大勢で調理した。御祝儀はその頃三〇〇〇〜五〇〇〇円位であった。冬はソリで嫁を迎えに行つた。

葬式

香典は五〇〇〜一〇〇〇円位であった。タコ上げ、ずぐり、げんべい兵隊ごっこをした。竹でチャンバラゴッコ、なわ飛び。女はアンコ(おはじき)、アヤコ(お手玉)など男と女の遊びが違うので別々に遊んでいた。

出来事

水田の区画整理があった。反対者が多かったのでも、よくやれたものだと思う。反対者は区画整理をやらせないように、外部にも運動しに歩いたりした。久井名館は長期にわたつた反対運動が続いた為、ようやく昭和54年から工事が始まつた。

戸数

久井名館は昔から70〜80軒であった。よく十川が氾濫し、改修が行われた。しかし、土地が低いので未だ氾濫の恐れがある。

川の改修

改修工事で6人位亡くなった。

橋の幅

十川の橋が狭く手前にカーブもあり一回に上がれないで何回もバックを繰り返したが、積み荷の木があまりにも多く、馬ごと落ちたことがあったが、馬も人もケガはなかった。

村の印象

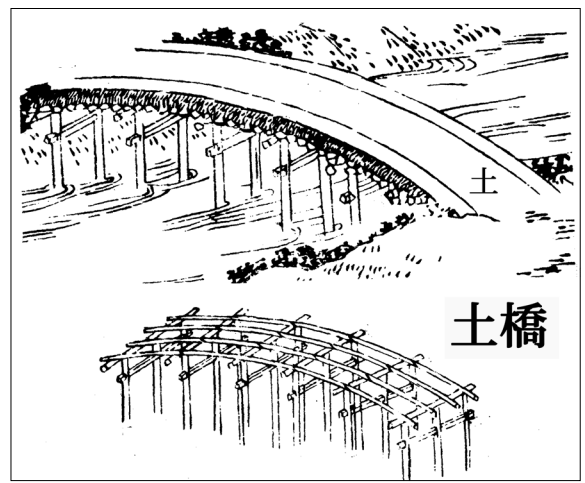
村外から来た人は随分大きい部落だと言つた。一本道の長い部落だった。

水車

お宮の墓地の所に水車があつて、それで精米をしていた。ここから用水を部落の中に引いていた。

旗竿

祭りのとき旗竿を建てたが、高さが11間半(約20m)もある旗竿に伝わって登って行き、上での字になり手を放して観衆をびつくりさせた。現在の高さは9間半(約17m)である。「もつけ」と言われた若い者であった。



昔の橋は木と土で出来ていた (算法地方大成)

◆ 歯なしの話 99 ◆

粋な放送

佐藤 透

先日(2月24日)にNHKで粋な番組が放映された。「即位の礼の晩さん会」の普段目にする事が出来なして手順などを1時間ほどのドキュメントにして見せてくれたものである。

内容は、とてもとても想像していたより興味深く面白く、エキサイティングなものであった。とにかく70分の食事時間に6品だったかの料理を出し、その人数は八〇〇人ほどで、各国の首相やら大使やら、また王族や皇室の方々など多士済々であった。その方々に70分以内に粗相がないようにし、また、アレルギー食の方、イスラム食の方、ベジタリアンなどなど多くの方々に対応する様々な内容の食事であった。

総料理長をトップにしてかなり時間をかけて、各分野のスタッフがシミュレーションしながら計画的に進行していくのである。皆様、結婚式や葬式をしてみると分かつたと思うのだが、必ず変更やトラブルが発生するが、今回は、そのことに対しても織り込み済みで対応していくのである。全くとってハラハラ、ドキドキする内容であり、時にはホッとさせてくれる番組であった。

見終つて気づいたのであるが、我々医学領域の手術をするときの内容とダブって見ることができた。歯科口腔外科においてもそうなのだが、あらゆることを想定し、準備して手術をするものなのである。万が一はないということがある。手術用具・術式・レントゲン・薬品等々担当がもれなく配置・準備されていて、患者に対応しているものなのである。

そのことを思つてNHKの番組を見ていたら、つい引き込まれて、晩さん会の成功もうなずけて見たものであった。

まずは、ホテルのスタッフの方々にエールを贈り感謝!!感謝!!

◇◇◇ 川柳 ◇◇◇

- 手づくりのマスクの柄とこんにちは 高木アツ子
- 何時か行つた旅の葉をもう一度 鈴木 てつ
- 桜散るあなたはまだよ咲いてくれ 三浦 進
- 朝昼晩大事に食べて生きてます 石動 弘一